

明日

20th

都立富士高校 附属中2
茶道部
宮本 朋音

始めに

二〇二〇年東京オリンピック、パラリンピック競技大会を前に、中高生がジャーナリストとして文化事業を取材する「文化プログラムプレスセンター」の活動として二月十二日に国立新美術館で三月四日まで行われているDOMANI・明日展を取材しました。

DOMANI・明日展

とは？

文化庁は、将来の日本の芸術界を支える人材の育成のため、若手芸術家が海外の大学や関係機関等で行う研修を支援する「新進芸術

家海外研修制度」を一九六七年度から実施し

ており、今年で半世紀を迎えます。また、本研修の成果発表の機会として一九九八年からDOMANI・明日展を開始しており、今年度で第二〇回目となります。今年度は十一人のアーティストの作品が展示されています。

鑑賞者を鑑賞する？

全ての作品を見ましたがその中で私が一番興味を持ったアーティストはやんツーさんです。



作品名 現代の鑑賞者 #1
制作年 2017
素材 ビデオ、ワイ、コンピューター、iPhone

マルセル・デュシャンは「みるものが芸術をつくる」と言い、作品は鑑賞されてはじめて芸術として成立すると芸術を規定したそうです。

この「現代の鑑賞者 #1」という作品では、セグウェイが鑑賞者として鑑賞されたものに芸術が成り立ちます。そしてそのセグウェイを私たちが鑑賞することでセグウェイにも芸術が成り立つのです。その新しい発想が面白いなかなと思えました。他にもロボットを使って絵を書くなど、近代ならではの作品が沢山ありました。

デザインの方

インタビュー

展示を見た後、デザ

Q 海外に行く前と後ではどう変わる？
A ティーストさんから聞いた話。海外に行くと、日本のことについて考えました。自分たちの文化は外に出てみないとわかりません。海外に行くくと自分と向き合えます。

Q 見増さんにとって芸術とは？

A 問題やき、かけを与えてくれるものです。

Q 現代美術とは？

A まさに今生きているアート。定義が出されていない。色々な見方があっている。空間の中で異なった作品を三百六十度で見ると、その時感じた感覚を大切にするといいです。

Q 意見の食い違いが起きた際どうするか？

A とにかく相手の意見を聞き、受け身になります。多角的な視点の中で自分のものが本当に合うのか確かめます。

Q 海外に行く前と後ではどう変わる？
A ティーストさんから聞いた話。海外に行くと、日本のことについて考えました。自分たちの文化は外に出てみないとわかりません。海外に行くくと自分と向き合えます。

編集後記

このDOMANI・明日展の作品を見て、海外に行くと帰国してきたときの作品は前のものと変わっているのを見て感じられました。また、インタビューでおっしゃっていた様に自分たちの文化は外に出てみないとわからないので、私も茶道という文化を外に出て見直してみたいと思います。